

# 大分労働局長が大分運輸支局とともに、トラック運送業の労働時間削減等に効果的な取組を行う荷主企業へ訪問し、意見交換を実施しました

## ～11月の「過重労働解消キャンペーン」の取組～

2024年4月から、自動車の運転の業務についても、時間外労働の上限規制が適用されます。しかしながら、自動車の運転の業務については、他の産業に比べ労働時間が長い実態にあるものの、その背景には荷主との取引慣行の問題など、個々の事業主の努力では解決できない課題もあります。

そのため、大分労働局(局長 佐藤広道)は、11月の「過重労働解消キャンペーン」の一環として、トラック運送業の労働時間削減等に効果的な取組を行っている荷主企業へ訪問し、その取組状況を確認するとともに、トラック運送業と荷主企業を交え、意見交換を行いました。また、本年度は、トラック運送業を所管する大分運輸支局と合同で実施しました。



大分労働局が大分運輸支局と合同で行うのは今回が初めてです！

### 【荷主企業】

企業名：八鹿酒造株式会社  
事業内容：清酒・焼酎・リキュールの製造



### 【トラック運送業】

企業名：九州ライトニング物流有限会社  
事業内容：一般貨物自動車運送業



## 1 挨拶・職場巡視



挨拶の際に、麻生代表取締役社長からは、「自社の社員を大切にするという思いと同様にパートナーである運送会社も大切にしたいという思いで、いろんな取組みを行ってきた。今後も共同輸送などを検討していきたい。」とお話されていました。

意見交換の前に、八鹿酒造、九州ライトニング物流、大分運輸支局とともに職場巡視を行い、八鹿酒造の物流改善に向けた取組状況を確認しました。

右の写真は、作業者の負担軽減のために八鹿酒造が導入したパレット自動積載化装置について、佐藤局長が説明を聞いている状況です。



山下営業部次長 佐藤局長

意見交換や八鹿酒造取組事例については次頁を参照してください

## 2 意見交換

意見交換に先立って、八鹿酒造の方から自社における働き方改革実践事例の紹介をいただくとともに、物流倉庫による配送先の集約をご紹介いただくなど、トラック運送業の労働時間削減等に向けた効果的な取組みについてお話しいただきました。

(八鹿酒造の主な事例については、次項 3 を確認ください。)



意見交換では、大分労働局から働き方改革に向けた各種助成金制度の案内や大分運輸支局からトラック運送事業法改正にともなう荷主対策の強化（荷主の配慮義務等）の説明がなされたほか、九州ライトニング物流の中田社長からは2024年の時間外労働の上限規制適用を契機に、トラック運送事業者が淘汰されることへの懸念や荷主との取引慣行の変革が起きるのではといった意見がでるなど、盛況な意見交換となりました。



## 3 八鹿酒造の取組事例

### ☑ 物流倉庫による配送先の集約、フェリー等の積極利用

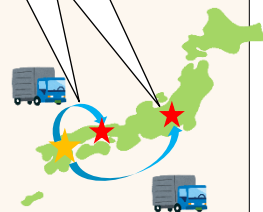
本州の「兵庫県神戸市」と「埼玉県戸田市」に自社の契約倉庫を設け、運送会社には工場から契約倉庫へのみ荷を配送してもらうこととした。商品は契約倉庫で保管しておき、地方の物流センターから出荷依頼があった際の、契約倉庫から、物流センターへの配送は別会社のトラックドライバーに依頼している。

また、本州への輸送はフェリーを使用できるよう、フェリー運賃を含めた契約金額としている。

☞ 幹線輸送担当と端末輸送担当を分離することができ、トラックドライバーの拘束時間短縮につながった。

また、フェリーの乗船時間は休息期間となるため、同じく拘束時間短縮につながった。

物流倉庫から地域の問屋は別会社が配送



### ☑ パレット等の活用・荷役（付帯）作業の分離

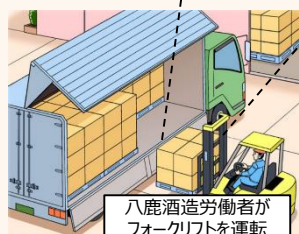
前頁のパレットへの自動積載化も負担軽減につながっています



商品が入った瓶ケース等をトラックにバラ積みすると作業効率が悪かったことから、商品の積み込みをパレットを用いてフォークリフトにより行うことにより、荷役作業の負担を軽減した。

また、パレットへの荷の積み下ろし及び、フォークリフトの運転は八鹿酒造の労働者が行うことをルール化し、トラックドライバーの荷役作業（付帯作業）を廃止した。

☞ トラックドライバーの作業負担が軽減されるとともに、拘束時間の短縮につながった。



### 大分労働局より一言

荷主企業として、トラック運送業の企業の労働時間削減のための創意工夫が見受けられ、また、両者の取引慣行も含めた関係が良好であると感じました。

トラック運転者の長時間労働を改善するためには、今回のように荷主企業などの協力により、取引慣行を見直すことが必要不可欠です。大分労働局として、取引慣行の見直しを含めた働き方改革に関する取組がさらに広がっていくよう、今回の事例も含め、広く周知していきます。